



2018・9・11

第 317 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 自民総裁選を改憲宣伝の場にするな

### 3000 万署名呼びかけ 1 周年

九条の会も参加する安倍 9 条改憲 NO！  
全国市民アクションは、「3000 万人署名」  
よびかけ 1 周年の 9 月 5 日、記念の集会を  
開きました。

集会では全国市民アクション共同代表の  
高田健さんが、主催者を代表して「3000 万  
署名運動は戦後のさまざまな署名運動と比  
較してもなかなかない規模で発展してい  
る」とあいさつ。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求め  
る市民連合の中野晃一さんが「安倍 9 条改  
憲と臨時国会の課題」と題して講演しまし  
た。また、長野県上田市のピースアクショ  
ン・うえだ、埼玉・教職員九条の会、東京  
世田谷区のお散歩デモ・学校前スタンディ  
ング@せたがやの代表らが、それぞれの地  
域・職場における創意ある取り組みを報告  
しました。

報告された全国各地の取り組みのまとめ  
をおこなった九条の会の小森陽一事務局長  
は、「3000 万人署名を集めれば、仮に与  
党が改憲発議に踏み切ろうとしても、賛成

北海道地震・台風 21 号の  
被害に合われた皆様に  
心からお見舞い申し上げます  
**九条の会**

した議員は選挙で勝てない」ことを強調、  
目標達成に向けたさらなる奮闘をよびかけ  
ました。

### 北陸 3 県がブロック交流会

【九条の会北陸ブロック】 九条の会の  
第 9 回北陸ブロック交流集会在 2 日、福井  
市の県教育センターで開かれ、福井、石川、  
富山 3 県から約 90 人が参加し全体会や分散  
会で交旅しました。

各県から 3000 万人署名の取り組みが報告  
され、九条の会・ふくいの屋敷絃美事務局  
長は、「憲法カフェ」の学習活動や宣伝活動  
と並行して署名運動を進めていると発言。  
地域に署名用紙を事前に配布し、後で訪問  
している手法が有効だと紹介しました。

九条の会・石川ネットの板坂洋介事務局長は「3000 万人署名を達成することで改憲発議を阻止できるという確信を一人ひとりにもってもらうことが重要だ」とのべ、「県内でも市民と野党の共同が広がっているが、地域の訪問活動はまだ弱い」として取り組みを強めていく決意を語りました。

「9条の会」富山県連絡会代表幹事の藤田政治さんは、各地域・職域で 24%超の人から集める目標で取り組んでいると報告。遺族会を訪ねて署名を集めている経験や、仏教者9条の会が「憲法9条は仏様の願いです」とビラに書いて署名用紙を配布している活動などを紹介し、「署名を広げに広げることが重要だ」と強調しました。

集会では、名古屋大学大学院教授の大河内美紀さんが「九条の改憲発議を許さない」と題して講演を行ったほか、参加者全員で沖縄知事選支援を確認しました。

## 県内の 3000 万署名運動を交流

### 【熊本県／市民アクション実行委員会】

「アベ政治を許さない」と、熊本県内で 3000 万人署名やスタンディングなどに取り組んでいる市民らの交流会が 1 日、熊本市で開かれ、70 人が参加し、意見交換しました。安倍 9 条改憲 NO！全国市民アクション熊本県実行委員会が呼びかけたもの。

実行行委の福島将美共同代表が「交流会で意見を出し合い新たな発想をもってこの運動をすすめよう」とあいさつしました。

基調報告でくまもと九条の会の三澤純事務局長（熊本大学准教授）は、目標の 3000 万人分を超える署名を達成させるための論点として、安倍政権が狙う改憲では「国家

の安全保障」が優先され防衛費などを増大させる一方、福祉・教育予算は削減されると指摘し、公衆衛生や教育、雇用の安定などの「人間の安全保障」こそ、最優先すべきことだとして必要な判断材料やデータを示し訴えようと呼びかけました。

交流では、荒尾、玉名、熊本、人吉の各市・地区から九条の会など市民団体の代表が活動報告。「憲法問題を真剣に考えるがゆえに署名を迷う人が増えている。（問題をわかりやすく伝える）宣伝の重要性が強まっている」などと発言しました。

## 全国統一署名週間に呼応して

【宮城県／県内九条の会連絡会】 「秋の臨時国会をめざし 3000 万人達成に進もう」と全国市民アクションが 1～9 日まで呼びかけている「全国一斉署名行動週間」に呼応し、東北各地でも宣伝や行動が取り組まれています。

宮城県内九条の会連絡会は 4 日、街頭宣伝をおこない秋の臨時国会に憲法改定案の提出をねらう安倍首相の野望を打ち砕こうと、「安倍 9 条改憲 NO！3000 万人署名」を仙台市の繁華街で呼びかけました。

この日、21 人の参加者が同会作成の署名付きチラシを配りながら「憲法を守る署名です。みんなで憲法を守りましょう」と市民に声をかけました。大きな荷物を背負った男性やキリスト教のシスターらが足を止めて署名し 30 分で 77 人が署名しました。

東北工業大学 2 年生の女子学生（19）は「平和が大事。唯一の被爆国の日本で二度と同じことが起きないようにこれからも平和が続いてほしい」と署名しました。

「安倍政権には一日も早く辞めてほしい」と署名したのは鈴木とき子さん（85）。『記憶にない、記憶にない』と国民をだまして、今の自民党には怒りがいっぱい。選挙で決着をつけないとね」と話しました。

## 1日から9日まで県内各地で

**【徳島県／市民アクション徳島】** 全国一斉署名行動週間に呼応して、「安倍9条改憲NO！徳島・市民アクション」は1日、徳島市で宣伝し、3000万人署名への協力を呼びかけました。

徳島駅前「まだまだ続くよ3000万人署名」と書いたビラを配布。のぼりを掲げてアピールしました。

徳島人権・平和運動センターの岩生大治議長は「5兆円超えの防衛費、米軍との共同の深化など戦争へ進む危惧が現実であり、憲法が危ない」と強調。「戦争をさせない1000人委員会」徳島の西大聡事務局長は「自衛隊が憲法上の組織になれば、海外での戦争に参加し、防衛費が伸び社会保障費が削られ、人権の制約が多くなる。『何も変わらない』とだまし、ごまかし（の改憲）は許されない」と訴えました。

徳島・市民アクションは9日まで、県内各地で宣伝、署名に取り組む計画です。

署名した徳島市の女性（73）は「なし崩し的に戦争に参加されては困る。戦争するなら安倍首相一人が行けばいい。今の平和を守らないといけない。頑張る」とのべ、別の女性（76）は「空襲で家が焼け、親族が犠牲になった。孫には平和を残したい」と話しました。

## ポスター掲げて署名呼びかけ

### 【秋田県／秋田九条の会、潟上九条の会】

「アベ政治を許さない」のポスターをいっせいに掲げるスタンディング行動が3日、秋田市、潟上市で行われました。

秋田市では「秋田九条の会」「あきた女性九条の会」などが、JR秋田駅前3000万人署名への協力を呼びかけました。

70代の男性は「自民党総裁選でどっちになっても、やることは一緒。こんなひどい、恐ろしい政治を変えるためにも、野党にがんばってもらうしかない」と語り署名。買い物途中の女性らも「政治をめちゃくちゃにした自民党の支持率が高いなんておかしい」「まともな外交もしないで、脅威だ！脅威だ！と繰り返すだけの首相なんて、今すぐやめてほしい」と口々に話し、「何としても政治を変えてほしい」と激励。スタンディング中にカンパを申し出た男性や、終了後に「署名させてほしい」と声をかける人もいました。

潟上市では「潟上九条の会」のメンバーらが、県道沿いでノボリやポスター、プラカードを掲げ、「平和憲法を壊すな」「戦争できない国になろう」「陸上イージスはどこにもいらない」と訴えました。対話した通りがかりの中学生らは「どんな兵器やミサイル基地をつくっても平和にはならない。戦争のない世の中にしないといけないですよ」と話しました。

## 自衛隊員の多い県で連続署名行動

### 【青森県／県民の会】

「安倍9条改憲NO！全国3000万人署名青森県民の会」は

6日、青森市の新町商店街で連続署名行動取り組み、30分間の行動で31人が署名をしました。

3日から始めた連続署名は、この日で4日目。30度を超える暑さの中、「あなたは戦争に行きますか？子や孫を戦場に送りますか？」の横断幕を掲げて、県九条の会、憲法ネットあおもりなどから参加したメンバー19人が元気に署名を呼びかけました。

会社員の女性（42）は「私も改憲に反対です」と署名「県選出の自民党国会議員全員、安倍首相を支えています。青森は自衛隊で働く人が多いからこそ、改憲阻止の声を大きくしたい」と語りました。

参加者の呼びかけに、観光に来ていたオランダ人カップルが足を止め、「何の署名をしているの」と声をかけてきました。英語を話せる参加者が「戦争をさせない、戦争を止める署名です」と伝えると、「私も賛成。いい署名ね」と2人そろってサインしました。

署名をした84歳の女性は「テレビに映る安倍首相にいつも『はやく辞めなさい』と文句を言っているんだ。安倍一強まいね（ダメ）」と力を込めて語りました。

## 満蒙開拓青少年義勇軍の地で

【長野市／更北9条の会】長野市の丹波島橋南バス停付近では、更北9条の会のよびかけで始まったスタンディング宣伝を継続。8人が手書きの「憲法9条変えずにとめよう戦争への道」の看板などを通行する車によく見えるようにアピール。3000万人署名も呼びかけました。

毎回参加する出河寛子さん（72）が、ハ

ンドマイクで「憲法9条を守る全国の運動に連帯して宣伝しています」とスピーチ。沖縄知事選への連帯も訴えました。

参加した男性（90）は満蒙開拓青少年義勇軍の経験から「あんな経験は子や孫にさせたくない」と語り、50代の女性は「安倍政権は国民の反対の声を聞いていない」と戦争法も共謀罪もカジノ法も強行した怒りを語りました。

70代の女性は「あまりの暑さでできなかった3000万人署名の訪問行動も再開しないと」と改憲阻止への思いを語りました。

## 県内の野党が顔をそろえて

### 【香川県／9条の会かがわ、香川革新懇】

9条の会かがわと香川革新懇は6日、安倍政権退陣を求めて高松市の商店街をデモ行進しました。市民と野党各党から60人が参加しました。

出発式では、国民民主党の木村篤史県議、立憲民主党の高野和憲高松市議、共産党の秋山時貞県議候補、社民党の高田良徳県連代表、新社会党の井角操県委員長ら県内の野党代表と小川淳也衆院議員（無所属）が訴えました。

各氏は安倍首相が臨時国会に自民党改憲案を提出することを批判し、「共闘の力で、安倍改憲ノー、安倍政権ノーの声をみんなで広げていこう」と呼びかけました。小川氏は「安倍首相の特異な歴史観、改憲論に野党は対決していこう」と語りました。

参加した医療関係者の大西正志さん（62）は「総裁選の中で首相が改憲を持ち出すことそのものがおかしい。退陣しかない」と話しました。